

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104241
法人名	株式会社クロスサービス
事業所名	グループホームむく
所在地	愛媛県松山市西野町甲434-1
自己評価作成日	平成21年6月24日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年7月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者が思っていること感じていることについて、気づこうとする努力をスタッフ一同が行っています。一人一人のスタッフが、ご利用者と向き合い、ご家族と向き合い、自分と向き合うことで何が大切であるかを日々振り返りたいです。『むく』という場所で、ご利用者が自然と安心して、ご自分の住まいとして過ごせるような環境となることを目指して努めていきたいと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では、利用者のご自分の思いを表わすことができる環境を大切にされており、職員は、利用者によく関わって「見て、聴いて、知る」ことに心がけ、利用者からの訴えを受け止められるよう努めておられる。
職員は、冷蔵庫の中を見ながら利用者メニューを考え、利用者とともに買い物に出かけ食事作りをされており、「食べたいものが食べたい時に食べられる」ような支援に努めておられる。事業所の畑で採れた野菜や、ご近所からのいただきもの等が食卓に上ることもある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名

グループホームむく

(ユニット名)

2階

記入者(管理者)

氏名

越智 哲哉

評価完了日

21年 6月 24日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ミーティングを活用し、BS法を用いることで全スタッフの想いや気付き、大切にしていきたい事を共有しながら作成している。しかし、具体的な実践はまだこれからと考える。	
			(外部評価) 事業所の方針に基づき、各ユニットで理念が作成されており、「利用者、ご家族、地域が助け合えるような関係作り」を目指して取り組まれている。ユニット入口には、理念が掲示されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 何かおやつやコロケを作ったりするとお散歩ついでにおすそ分けに行ったり、クリスマスやお餅つきといった行事にお誘いすることで、ご利用者と地域との関係が持てるよう工夫している。運営推進会議でも問題の共有を図っている。	
			(外部評価) 事業所でクリスマス会等の行事を行う際には、地域の方達をお誘いしてともに楽しまれたり、散歩時、ご近所の方から野菜をいただくこともある。利用者が夜間、ご近所の方を訪ねて行かれた時には、対応に協力して下さったこともある。地域の方や外部者に向けて、事業所の取り組みをお伝えする「むく通信」も発行されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議を利用して、認知症の事をお話したり、直接認知症についての議題でなくても例えば避難訓練などにおいて認知症があるためにこんな危険や工夫が必要であるといった内容をお話している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 一例として運営推進会議の場で、地域の方から井出掃除の依頼を受けて、実際に参加した。また、ご利用者のご家族さんから居室掃除が時々おざなりになっているように思うとのこと指摘を受けて、早速スタッフで話し合い、徹底を図る。</p> <p>(外部評価) 会議事、包括支援センターの担当者に「高齢者虐待について」お話いただいたり、地域の民生委員の方から「タクティールケア」等を教えていただいた。事業所からは、行事や近況報告を毎回されており、出席者の方から地域等の情報をもらったり、ご意見をうかがっておられる。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議や事業所連絡会を活用しながら、当ホームの実情をお話したり、他のグループホームの実情をお聞きすることで協力関係を築くように努めている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、事業所の理念を説明された際には、地域包括支援センターの担当者の方から、「理念を頭に入れて頑張ってもらいたい」とアドバイスをいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 夜間、外部からの侵入を防ぐための施錠はもちろん行うが、日中の施錠は行わない。風通しの良い日はドアを開けっ放しにしていつでも外に出られる環境もある。但し、指定基準における理解については職員間の周知にバラツキはみられると思う。</p> <p>(外部評価) 調査訪問時、玄関は開け放たれており、玄関先のベンチでくつろぐ利用者もうかがえた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	
			ミーティングやカンファレンス、その他の話し合いにおいて、事例に即して虐待になっていないかの話し合いは行うが、具体的な勉強会は約1年以上実施していないため職員の意識にバラツキはあると思う。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	
			ミーティングやカンファレンス、その他の話し合いにおいて、事例に即して権利擁護の話し合いは行うが、具体的な勉強会は約1年以上実施していないため職員の意識にバラツキはあると思う。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	
			平成21年度4月の介護報酬改定に伴う重要事項の見直しの説明は家族会を利用してしっかり説明を行うと共に、参加できなかった方は面会時に行ったり、遠方で来れない方は電話で内容を説明してから書面を送付し対応している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	
			特にアンケートなどは行っていないが、家族会や運営推進会議を利用して意見が反映できるよう努めている。 現在、事務所あてなど、むく以外の発送されるような意見が言いやすい形のアンケートを検討している。	
			(外部評価)	事業所が発行する「むく便り」をご家族に送付して、外出の様子等、事業所の取り組みを知らせておられる。ご家族の来訪時やお電話で意見等を聞いておられる。ご家族が来られた際には、職員が笑顔で声をかけ、ご家族が訪れやすい雰囲気を作っておられた。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングなどで職員の意見を聞き、必要があれば法人全体の会議にて話し合えるような仕組みがある。しかし、職員からの提案はまだまだ少ない現状がある。	
			(外部評価) 「環境」「ケア向上」「たより」等、職員それぞれに係を決め、個々が役割を持って取り組まれている。管理者は、日頃から職員の話に耳を傾け、意見を聴き、ともに考えるようにされている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 係りや担当を明確にし、個別のファイルを作成することで個々のスタッフが努力した実績が残るように行い、年に2回の人事考課を通して給与水準に反映できるよう努めている。	
			(外部評価)	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 法人内外の研修予定が作成されており、OJTも活用することで働きながらトレーニングが行えるよう努めている。法人内の研修の参加状況も良好である。	
			(外部評価)	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 法人内のグループホームや小規模多機能施設と相互研修を行っている。また、事業所連絡会を活用して勉強会の情報交換などを行っている。	
			(外部評価)	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 見学の段階でゆっくりと会話のできる時間を持ち本人の思いが伝えられるに努めている。入居後も早く安心して過ごせるよう関わりを密に持ち話をよくお聞きし丁寧な対応に努めている。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族の話聞くことで困っていることや求めていることを知り、こちらの力になりたいと思っている気持ちを伝え、関係を築けるように努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご本人やご家族の希望を聞き、グループホームに限定せず様々なサービスの選択肢を一緒にかんがえるように努めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>畑や花のこともお料理やお掃除など一緒に行うことでお互いに学んだり興味が湧いたり助け合う雰囲気作りは常に取り組んでいる。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族参加の行事を計画し共に過ごす時間を持っている。また、面会時にご家族が来られた時のご様子と普段の違い等をお伝えし、共にご本人を支えていることを再確認するようにしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>電話や手紙など定期的に連絡が取れるように支援している。馴染みの方にとってスタッフが弊害にならないよう、入口に写真とプロフィールを貼ることでスタッフも知って頂き、気軽に来所して頂ける雰囲気づくりに努めている。初めての面会の依頼に対してはご家族にも一応了解をもらうようにして個人情報の保護にも努めている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>ご家族から絵手紙や贈り物が届いたり、ご家族と外出をされる方もいる。又、体調が思わしくない時に、ご家族が泊まってくださることもある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) なるべくご利用者同士の会話を見守り雰囲気を見て間に入ったり関係が作れるよう支援している。ご利用者同士が、利用し始めの方や不安を感じている方に気を使って話しかけたり慰めている場面もみられる。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後も仲の良かった利用者の方と訪問できる機会を持ち、付き合いを大切にしている。また、日々の生活の中でも写真を見ながら思い出話をしたりし懐かしんでいる。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の暮らしの中で、さりげなく思いや意向をお聞きしている。また、それをケアプランに反映するためにセンター法式を活用しご本人本位になるよう努めている。 (外部評価) 事業所では、利用者のご自分の思いを表わすことができる環境を大切にされており、職員は、利用者によく関わって「見て、聴いて、知る」ことに心がけ、利用者からの訴えを受け止められるよう努めておられる。	さらに、事業所では「利用者と向き合う」ことを大切に考えておられる。今後もさらに生活歴等、ご本人のこれまでのことについても情報を集め、利用者個々のその人らしい暮らしの支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 日頃の会話の中からご本人やご家族から聞き取った情報を申し送ったり記録に残している(個人記録・申し送りノート)。普段の生活の中で話を聞ける雰囲気作りに努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ケアプランに沿った一週間のケア目標を中心に一日の様子(各ご利用者のその日の過ごし方・心身状態・活躍された場面など)を振り返り必要に応じてセンター法式を活用して把握するよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	ご本人やご家族の意見をもとに、または思いを押し量りながら立案者がまとめていく。更新時にはカンファレンスを行い他のスタッフの意見も聞き作成している。	
			(外部評価)		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	個人別記録や申し送りノートを使い、その日の様子や体調の変化など気付いたことを共有している。また、それぞれのご利用者に対してケアプランに沿った一週間ごとのケア目標を決め毎日その結果や気づきなどを記録に残し、プラン更新時には見直しがスムーズに行えるようにしている。	
			(外部評価)		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	買い物や外出、通院などの要望はきちんとお聞きし、スタッフが随時同行している。また、身体に異常がある時などは連携している訪問看護ステーションに連絡を取ったり、必要な介護用品、福祉用具なども相談しながら対応している。	
			(外部評価)		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	公園、図書館、動物園などにも希望があれば行き、心の安定や知識の探求などの支援も行っている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価) 入居時にかかりつけ医の希望があれば聞き決めてい る。定期受診(往診)時には直前に状態をFAXにて 細かく報告し、情報交換により適切な医療を受けら れるように支援している。ご家族の意向も聞きながら必 要に応じて話し合いの場面も設けている。</p> <p>(外部評価) 訪問看護ステーションの方が、利用者個々の健康管理 に頻繁に来られている。又、退院後のケア等につい てもアドバイスをくださり、職員は、いつでも相談でき るようになっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価) 訪問看護ステーションほかにも1週に1回は健康 チェックに来てもらい相談に応じてもらい受診にも同 行してもらっている。24時間いつでも連絡が取れるよ うな体制ができています。往診には毎回、同行して もらっている。また、医師へのFAXは基本的にほか へも転送FAXするようにしている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価) 入院先へこまめに面会に行き、ご様子や状況を聞くよ うにしている。また、退院前にはご家族、看護師も含 めてカンファレンスを行い安心して退院できるように 努めている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 入居時の説明と共にご家族の思いを聞くようにしてい る。そうなった時にはご家族、かかりつけ医、看護師 等を交えて話し合いの機会を持っている。</p> <p>(外部評価) ご本人が重度化した場合は、ご本人の病状について詳 細に伝え、ご家族と話し合いの頻度も多くしながら、 利用者を支えていけるよう取り組まれている。又、か かりつけ医とご家族が話すような機会も作られてい る。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			年に2回は防災訓練と共に緊急時の処置の仕方を消防署の指導を受け行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			年に2回は防災訓練を行い避難経路や手順の確認を職員入居者と共同で行っている。	
			(外部評価)	
			夜間の火災を想定した避難訓練を行ったり、運営推進会議時には、出席者とともに消火器やAEDの使い方を習われた。	
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			親しみやすく丁寧な言葉で話すよう心掛けている。個人情報スタッフルームで取扱い、FAXを使用するときは氏名を一文字消し注意を払っている。	
			(外部評価)	
			利用者ご本人が「何を思い、何を感じているか」を探り、支援につなげられるよう努めておられる。ご本人から発せられる言葉や表現を大切にされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			ある程度の選択肢を出す等の工夫や決められない方には気持ちや希望を押し量る等して出来る限りご本人が決定出来る場面作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	散歩やお出かけが好きな方お話が好きな方など、様々なため、ご本人の思いをお聞きし、希望に添いながら刺激や気分転換への支援に努めている。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	馴染の美容室に出張してもらったりしている。外出時にはおしゃれに気を配れるような服装を選び、楽しくなるよな支援に努めている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	調理、盛り付け片付け等の食事に関する一連の流れをその方の力に応じて一緒に行っている。庭で収穫した野菜、ご近所さんから野菜など旬の食材を使用し季節感を味わって頂く。
			(外部評価)	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	バイタルチェック表で個々の食事量、水分量を把握している。食事量が減ってきた方には詳しく記入し分かりやすくしている。食べたいと思える盛り付けなど色々な側面からスタッフと話し合いながら支援している。
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	夕食後がおもであるが、声掛けや介助など個々に応じた支援を行っている。歯の状態の変化にも注意し必要であれば歯科受診や往診の支援を行っている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 普段からのチェック表を活用し声掛けをして排泄の有無を確認したり誘導を行ったりするが、自分で行ける方にはお勧めの声掛けのみで対応するなど自立支援を行っている。 (外部評価) 事業所では、「失禁があった場合、おむつにするのではなく、誘導を工夫する」という考えで取り組んでおられる。「ご本人の動きや顔色」等を観察してチェック表で確認しながら誘導し、排泄の自立に向けて支援されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘解消法の勉強会を行ったり、個々に応じてプルーンやさつまいも、バナナを多く利用したりといった工夫を行っている。また、排泄時に下腹部のマッサージも取り入れている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) ご本人の希望をお聞きし、可能な限り希望にお応えするようにしているが、それでも時間帯や順番がスタッフの都合になっている事があり、その都度話し合っている。 (外部評価) 「利用者個々がお風呂に入りたい時に入ることが、お風呂を楽しむ支援につながる」と考え、現在、夕方や夜間に入浴される方が多い。一人でゆっくり入りたい方等、希望に合わせて支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) ご高齢のためお疲れになりやすい方や夜間の睡眠が十分でなくその事を理解できずお疲れの様子の方にはこちらから休息をお勧めするなどその時の状況に応じて支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の量や種類が変わった時には特に注意して症状の変化を見守るように努めた。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 家事の好きな方には一緒に台所に入り調理をしたり、買い物の好きな方には同行したりといったその方の時に合わせた支援を行うよう支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 近場では歩行、又は車椅子に乗って散歩をする事は毎日の日課としその時々メンバー（ご利用者）で外出している。また、時には遠くても専門店へ買い物に行ったり美味しいものを食べに行ったりお寺参りに行くなどの支援を行っている。	
			(外部評価) 日頃の会話の中で、行ってみたいところや食べたいもの等の話題が出た時をきっかけにして、外出をされている。お部屋で使う日用品やお好きな飲み物等を、職員と買いに出かける方もうかがえた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) スーパーや専門店に外出しご自分の好きな物や欲しい物の買い物を行って頂き、可能な限りご自分でお支払されるよう見守りを行っている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) スタッフが必要事項で電話連絡した際のご本人への取り次ぎ、また、ご本人の要望時のお手伝いを行っている。また、年賀はがきなどが出せるよう制作をお手伝いするなどの支援を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 環境係りをつくり、そのスタッフを中心に玄関やフロア、お部屋に季節ごとのお花を飾ったり水かえをご利用者さんと一緒に行くことで共に居心地がよい空間が作れるように工夫している。	
			(外部評価) ベランダにはツバメが巣を作っており、利用者はツバメの成長を楽しみに眺めておられた。居間には、テレビや外の様子を眺められるような向きでソファが設置されており、2階の踊り場には、喫煙スペースを設けておられる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 夕食後の数時間、ソファにて気の合ったご利用者さん同士でテレビの番組の話をされたり、テーブルの椅子に座ってご自分の思いをスタッフに打ち明けたりとその時々で思い思いに過ごせるような居場所づくりに努めている。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) グループホーム入居前のベッドやテーブル、鏡台といった使い慣れたものを出来る限り使用して頂き、壁などにはご家族の写真やお手紙を貼ったりと落ち着いてご本人らしく過ごせるような空間づくりに努めている。	
			(外部評価) ご自分の今の心境を俳句で表現される方もあり、お部屋に俳句の短冊が多く飾られていた。ご家族からの絵手紙や贈り物を置かれていたり、使っている化粧品、テレビや鏡台を持ち込まれている方もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 紙で使い方を記したり(ポットのスイッチにとつけるなど)、おトイレの蓋を次のご利用者の方が迷わず使えるよう『あけておいてね』と書くなど介助をしなくてもできるだけ自立した生活が送れるよう工夫している。	
			(外部評価)	